

日本人のOSの使用率の違い

年齢層に差はあるのか



なぜこの研究に至ったか

2022年5月スマートフォンOSシェア調査によると

- ・ 同世代iOS使用率が高い
 - ・ 日本全体でのOSシェア率はAndroidのほうが高い
- 

先行研究

- ・ 2022年5月スマートフォンOSシェア調査
(MMDLABO.JP)
- ・ 関西大学社会学部准教授 松田 剛
「情報端末利用実態調査」

スマートフォンOSシェア調査(n=10000)

iOS 44.1% Android 51.5% その他4.4%

情報端末利用実態調査(n=199)

iPhone92.1% Android7.9%

若者はiPhoneを使用する傾向が高く、高齢者はandroidを使用する傾向が高いという仮説を立てました。

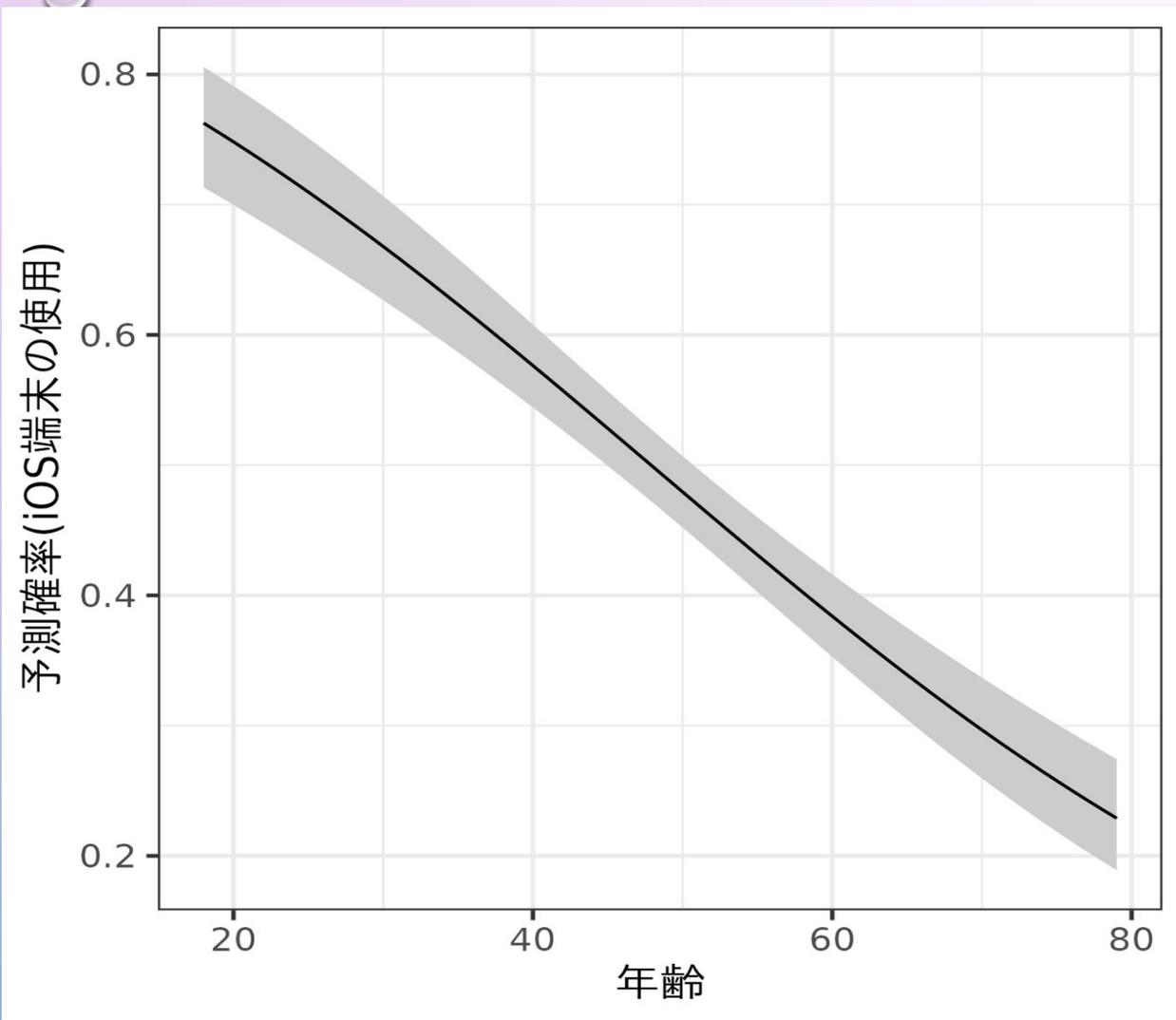
調査対象 18歳～79歳 1714人

調査分析

- ・ロジスティック回帰分析(孟)
- ・検定(イノウエ)
- ・棒グラフ(山本)

データ

ロジスティクス回帰分析



- ・年齢とiOS端末の間には負の関係

- ・

データ2

t検定

H_1 : iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がある

H_0 : iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がない

二標本の平均値の差を検定する

→ 統計手法は t検定

有意水準は 5% とする

	iOS	Android
平均年齢	44.5	54.3
中央値	44	55.5
標準偏差	15.4	15.3
平均の差	9.8	

データ2

t検定

帰無仮説 (H_0) : iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がない

対立仮説 (H_1) : iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がある

有意水準 (α) = 0.05

p値 : $2.2e-16$

有意水準 (α) > p値

→ 帰無仮説 (H_0) が棄却できる

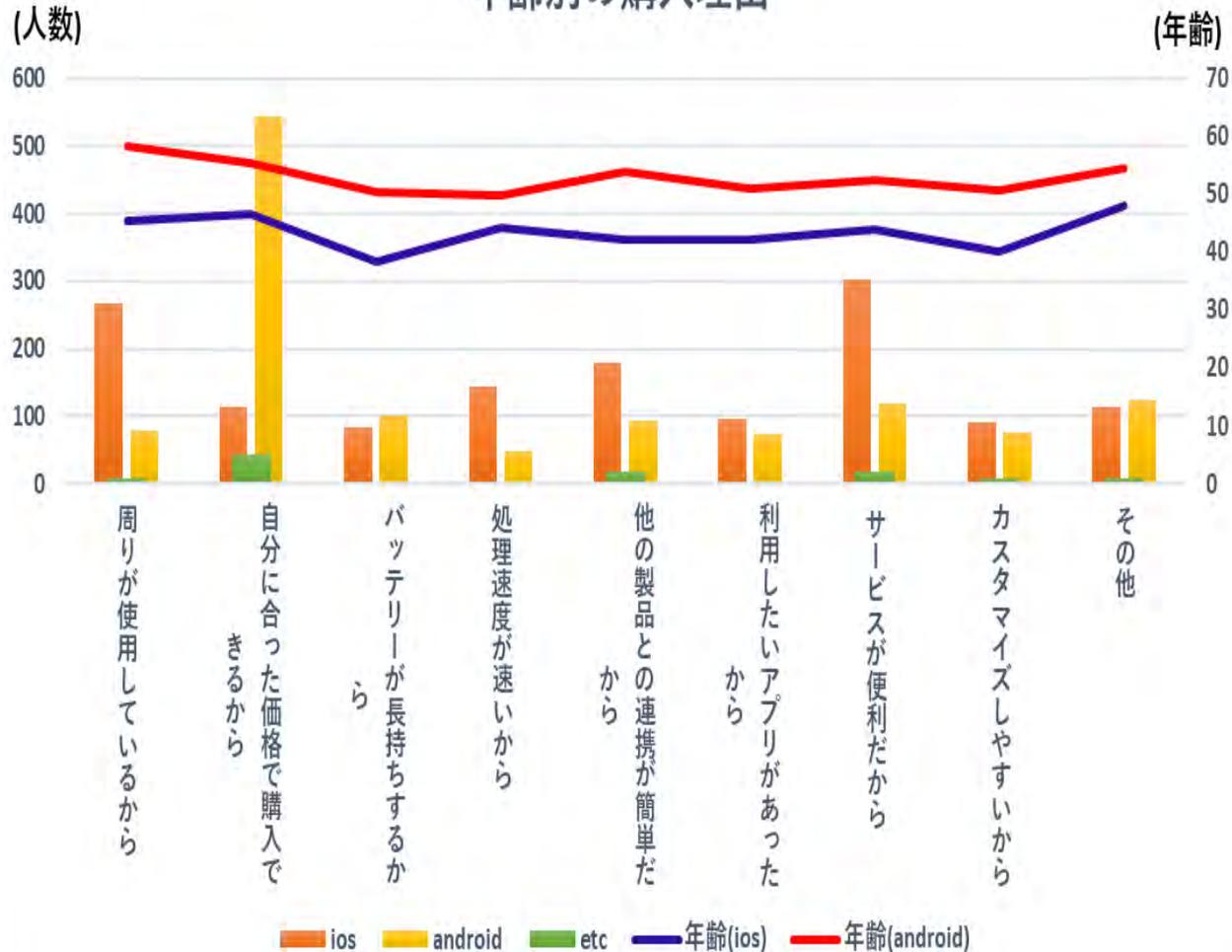
iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がある

データ3

棒グラフ

- ・年齢によるによる購入理由には関係が見られない
- ・iosはサービス重視、周りの使用率に影響
- ・androidは自分に合った価格重視

年齢別の購入理由



まとめ

- ・iOSとAndroidで購入理由の傾向は異なっている。
- ・年齢による購入理由の差は見られない。
- ・iOSユーザーとAndroidユーザーの平均年齢には差がある。

参考文献

2022年5月スマートフォンOSシェア調査
(MMDLABO.JP)

松田 剛、心理学専攻の学生を対象とした
情報端末利用実態調査

[HTTP://hdl.handle.net/10112/000213](http://hdl.handle.net/10112/000213)

52